

年頭のごあいさつ 佐川町長 片岡雄司



新年、明けましておめでとうございます。町民の皆様方におかれましては、心新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、約4年ほど続いた新型コロナウイルス感染症が5月に第5類に移行したことを受け、イベントや旅行などの自粛がなくなり、一定の日常が戻ってきましたが、物価高騰など町民の皆様にとって生活に大きな負担がかかり続けた1年であったと思います。

このような状況の中、4月からは当町出身の牧野富太郎博士をモデルとした連続テレビ小説「らんまん」の放映が開始され、大きな反響を呼びました。上町周辺は大勢の観光客であふれ、放送が終了した現在でも連日県内外の観光バスが停まっているところを目にすることがあります。また、放映期間中の6月には「まきのさんの道の駅・佐川」が開駅、7月には「佐川おもちゃ美術館」が開館し、相乗効果も相まって多くの方にご利用いただいております。来町された観光客数は例年の数倍が見込まれるなど、明るい話題となりました。

そして、私自身、町長に就任させていただき、2年が経ちました。この間、新型コロナウイルス感染症への対策や、給食費の無償化及び保育所・園の副食費の無償化、奨学金返還支援制度の創設など町民の皆様を暮らしを支えるべく取り組んでまいりました。そして

年頭のごあいさつ 佐川町議会議員 松浦隆起



新年、明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、晴れやかな新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。新しい年が皆さまにとりまして、素晴らしい一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

また、平素から佐川町議会に對しまして、温かいご支援とご理解を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

昨年十一月に議長に選任され、早くも二カ月が過ぎました。新しい年を迎え、あらためて身の引き締まる思いをいたしております。佐川町のさらなる発展のため、これまで以上に全力を尽くし取り組んでまいります。

さて、佐川町においては長く苦しいコロナ過を乗り越え、少しずつ日常を取り戻そうとしております。一方で、長期に及ぶ物価高騰は家計や事業活動に深刻な負担を与えております。この大きな課題に對し、議会としても町民の皆さまの暮らしを守るための取り組みを引き続き行ってまいりたいと考えております。

また、昨年は六月に待望の「まきのさんの道の駅・佐川」、そして「佐川

で、できる限り私自身が現場に足を運び、自分の目と耳で地域の声を受け止め、皆様の真意を感じることを常に心がけてきました。今後におきましても、「今」と「未来」の双方の視点から「できる、できないではなく、どうすればできるのか!」を意識し、常に住民目線で、生活に密着した政策を実施し、私が原点としている「持続可能な佐川町」・「一人ひとりが輝く、明るく元気で、温かいまちづくり」の実現に向け、引き続き、住民の皆様と共に佐川の新しい未来を創っていきたく、新年を迎えて改めて気の引き締まる思いであります。

今年、放課後児童クラブや「新文化拠点」の竣工、18歳以下の医療費無料化など、私のこれまでの行政経験を活かして、今まで以上に皆様の生活に寄り添った事業を進め、スピード感をもって町政に取り組みたいと考えております。

これからも佐川町の発展のため、町の歴史・文化、地域資源を守り育て、その魅力が次世代につながるよう、町民の皆様が忌憚のないご意見を賜りながら、まちづくりに取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって、明るく笑顔に満ちた幸多い年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

おもちゃ美術館」がオープンし、佐川町の新たな観光拠点が誕生いたしました。そして四月から放送されました連続テレビ小説「らんまん」の効果により、観光客も大幅に増加致しました。この流れを切らすことのないよう、議会としても取り組んでまいります。

昨年、コロナ禍により中断をしておりました「議会懇談会」を再開致しました。本年も、住民の皆さまの貴重なご意見を伺う場として、開催してまいりたいと考えております。また、今後は議会中継や議会の情報発信の新たな取り組みなど、佐川町議会のさらなる成長へ向けて、議会活性化に努めてまいります。

私たち議員は、本年一年も住民の皆さまの目線に立ち、住民の皆さまに寄り添い、日々の研鑽と努力を重ね、信頼される議会・議員を目指し、全力で取り組んでまいります。

皆さまのさらなるご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。